

授業科目：歯科理工学

担当教員：米山 隆之，小泉 寛恭，深瀬 康公

授 業 の ね ら い	<p>歯科理工学は，歯科医療の中で使用する様々な材料および器械・器具について，その性質や構造および性能などを物理学，化学，生物学および生体安全性の立場から研究する学問である。したがって，研究開発においては，材料・機器を取り扱うすべての歯科臨床系分野と結びついているばかりでなく，一般工業界とも密接な関係を持っている。このような背景を認識し，新しい歯科材料・生体材料の開発および応用研究，新技術の開発と理論的考察を通じ，歯科医学における研究活動の基盤となる学識を修得するとともに，歯科医学の発展に寄与しうる研究指導者としての能力を養成する。</p>
テ ー マ ：	<p>① 生体用チタン合金・超弾性合金の特性と歯科応用 ② 歯科用金属，セラミックスおよび高分子材料の接合と複合化 ③ 歯科材料の力学的性質評価法 ④ 骨補填材の開発と応用 ⑤ チタン合金の鋳造とレーザー溶接</p>
内 容 ：	<p>歯科医学研究における基礎的知識および材料学的評価法を修得する。また，各々のテーマについての研究を進展させ，得られた成果を関連学会で発表するとともに，論文として学術雑誌に報告する。</p>
成 績 評 価 ：	<p>研究内容の理解度，研究発表，研究成果などにより総合的に評価する。</p>
そ の 他 ：	